



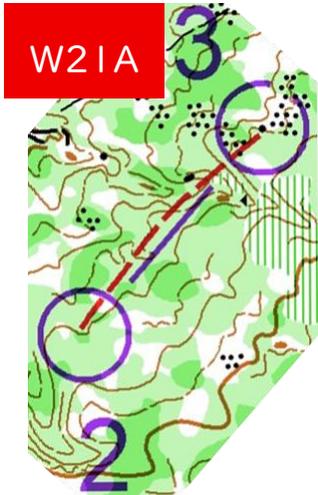
KOLA 50周年記念大山大会

「伯耆大山～国引き神話の丘～」コース解説

國々来々と引き来縫ひたまひし國は、
三穂の埼なり。
接ぎ引きたまひし綱は、夜見嶋なり。
固堅め立てたまひし加志は、
伯耆國有る火神岳、是なり。

『出雲国風土記』「意宇郡条」抜粋

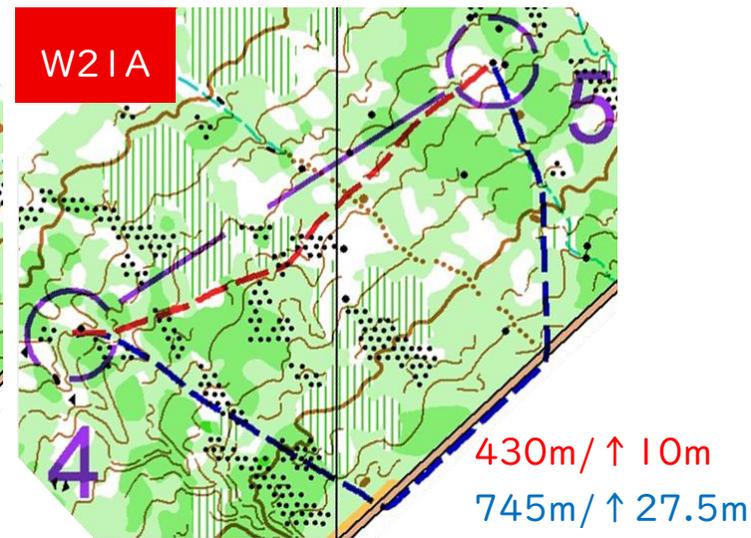
テレイン名は神が伯耆大山（別名
火神岳）を杭に見立て、美保関（三
穂の埼）を綱||弓ヶ浜（夜見嶋）
で引き寄せ、大山に繋ぎとめたど
いう『国引き神話』に由来します。



W21A
220m/↑7.5m
勝負レッグ前の短めコンタレッグ。アタック直前に深い沢の曲がりとCハッチで現在地を把握したい。

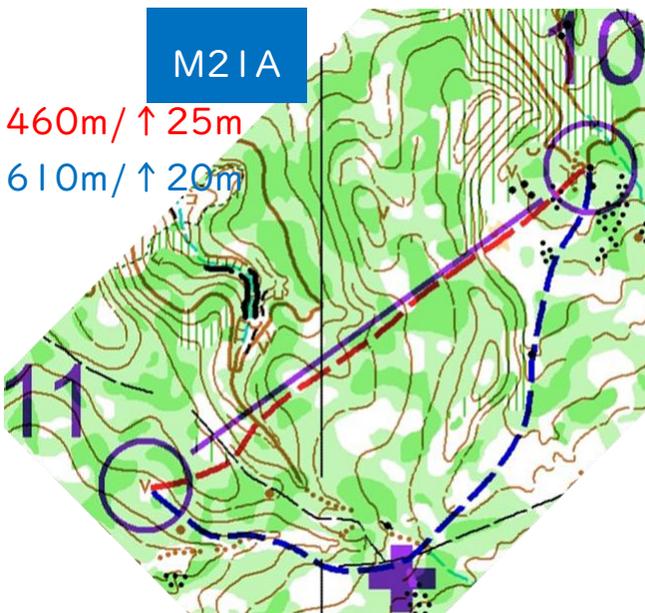


M21A
565m/↑10m
840m/↑25m



W21A
430m/↑10m
745m/↑27.5m

トレイン特性を最も発揮した勝負レッグ。想定ルートは赤。深い沢やCハッチで現在地を把握し、藪の薄い部分を辿れるとタイムが伸びるだろう。青は途中まで道と水系を辿れるがアタックが難しく、距離も長い。



M21A
460m/↑25m
610m/↑20m



M21A



250m/↑15m

どのレッグも方向維持が重要！直進するだけでなく、特徴的な地形で現在地を把握しつつ、C藪・ハッチを避けられるとタイムアップに繋がるよ。

M21Aの勝負レッグ2。想定ルートは赤。壁を登ったあと、方向を維持して斜面に流されないのがポイント。青は急斜面こそないが距離が伸び、アタックも難しい。

斜面を下ったあと、沢に入って藪の薄い部分を登るとタイムが出るだろう。12→13も同様。

